

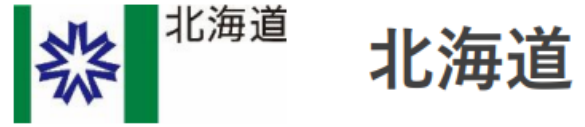
報道発表資料の配付日時 3月18日(水) 15時00分

発表項目 (行事名)	ファームエイジ(株)との連携協定の締結について											
概要	<p>○ ファームエイジ(株)と道は、本道酪農の持続的な発展に向け、相互に連携・協力しながら取組みを進めるため、次のとおり連携協定を締結します。</p> <p>○ 締結式の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：令和8年3月23日(月) 13:00~13:20</li> <li>・場所：道庁本庁舎2階 官民交流サロン「CONNECT(こねくと)」</li> <li>・出席者： <ul style="list-style-type: none"> <li>【ファームエイジ(株)】 代表取締役 小谷 栄二</li> <li>【道】 農政部長 鈴木 賢一</li> </ul> </li> </ul> <p>○ 進行予定</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr><td style="width: 150px;">13:00</td><td>開会</td></tr> <tr><td>13:03</td><td>協定書署名</td></tr> <tr><td>13:10</td><td>写真撮影</td></tr> <tr><td>13:15</td><td>道、ファームエイジ(株)からコメント</td></tr> <tr><td>13:20</td><td>閉会</td></tr> </table> <p>○ 協定の概要</p> <p>本道酪農において、配合飼料価格の高止まりや労働負担の増大などが課題となっている中、道では、省力的かつ低コストな生産が期待できるニュージーランド型放牧酪農に知見を持つファームエイジ(株)と相互に連携・協働しながら、道内における放牧酪農の更なる推進に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ニュージーランド型放牧酪農の推進に関する事項</li> <li>(2) 酪農・畜産における環境負荷軽減の推進に関する事項</li> <li>(3) アニマルウェルフェアの推進に関する事項</li> <li>(4) 放牧酪農を中心とした新規参入の促進に関する事項</li> <li>(5) 野生鳥獣による農業被害防止対策技術の推進に関する事項</li> </ol> <p>※ 主な協働事業等については、別添資料を御参照ください。</p>		13:00	開会	13:03	協定書署名	13:10	写真撮影	13:15	道、ファームエイジ(株)からコメント	13:20	閉会
13:00	開会											
13:03	協定書署名											
13:10	写真撮影											
13:15	道、ファームエイジ(株)からコメント											
13:20	閉会											
参考												
報道(取材)に当たってのお願い												
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)										
担当 (連絡先)	農政部生産振興局畜産振興課(担当者：川崎、荻島) TEL 011-204-5438 内線 27-773											

# ファームエイジ株式会社と北海道との連携協定の概要



◆ファームエイジ(株)は、ニュージーランド北海道酪農協力プロジェクトなどの放牧コンサルティングを通じて、持続可能な放牧酪農の普及を目指し、北海道酪農の発展に貢献していきます。



◆公共サービスの充実を図っていくため、民間企業のノウハウ、アイデアを提供いただき、官民一体となった協働を積極的に推進していきます。  
◆民間企業との協働により活力と潤いのある農業・農村づくりを促進します。

## ニュージーランド型放牧酪農の推進に関する事項

- ・酪農家に対する技術支援や経営コンサルティング
- ・放牧酪農技術の普及に向けたセミナーや研修会・勉強会の開催

## 酪農・畜産における環境負荷軽減の推進に関する事項

- ・配合飼料から良質な道産牧草への転換をはじめとする、温室効果ガス削減に関する情報提供

## アニマルウェルフェアの推進に関する事項

- ・アニマルウェルフェアの理解醸成や情報発信

## 放牧酪農を中心とした新規参入の促進に関する事項

- ・放牧酪農の新規参入者に対する技術支援

## 野生鳥獣による農業被害防止対策技術の推進に関する事項

- ・農業被害防止対策技術の普及・発信